

今回の全国学力・学習状況調査では、国語・数学・理科の学力調査の他、学習に対しての意識や
取組状況、学習環境に関する質問が行われました

今年度の結果は、以下の通りです。全国平均を上回る項目については、今後も伸ばしていくような取組を心がけ、下回っている項目については、要因となるものを分析して、その改善に向け、取り組んでいきたいと考えております。質問項目について、特に顕著な例を挙げます。

○肯定的な回答(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」)が全国の結果を上回っている。○

- ・自分には、よいところがあると思いますか
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- ・人が困っているときは、進んで助けていますか
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
- ・読書は好きですか
- ・あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか

●肯定的な回答(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」)が全国の結果を下回っている。●

- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
- ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
- ・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか

結果より

今年度の3学年については、自分のよさを認め、困っている人を進んで助けるという素晴らしさがあります。また、ICT 機器を活用する力がある程度身に付いていることや、道德の授業などでの話し合い活動の成果が、学校祭等の行事でも発揮されていることは素晴らしいことです。

朝読書などを通して読書に親しむ姿勢も見られます。そして教師が生徒一人一人のよさを認めていく姿勢は、今後ももち続けていきたいです。

一方、授業で学んだことをその後の学習や実生活に生かしていくことについては、課題が残ります。授業で学習して習得したことを自力でできるように、家庭学習等で努力を継続していく姿勢を身に付けてほしいと考えています。

札幌市教育委員会では、「学習習慣」「運動習慣」「生活習慣」づくりを学校とご家庭とが、『まほうのかいわ』を合い言葉に連携して取り組むことを目指しています。ご家庭でもぜひ、学校生活の様子などを話題にさせていただきたいと思います。

さっぽろっ子「学び」のススメ

https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/sidou/documents/r3_susume.pdf